



学校だより

R8年10月

大阪市立長吉南小学校

手で書く学習と「学習端末(タブレット)」での学習 「覚えること・記憶」には、鉛筆で「書く」学習が効果的



「筆記用具を使って紙に書く」作業が脳をしっかり働かせ「覚える」ことに大きな効果がある、という実験結果の報告を読みました。

東京大学の記憶に関する実験で「タブレットやスマホに入力する班」と「筆記用具を使って紙に手書きした班」を比較したところ、手書きの班が最も高い記憶力を発揮した、という結果が得られたのです。研究者によると「手書き」の作業により手の微細な動きや正確に書く意識が高まり、それが「脳の様々な部分を広く使う」ことにつながるそうです。特に、脳の司令塔である「前頭葉」の働きを活発にさせ、脳全体への大きな刺激になるとのこと、また、紙に書く時の「感触」や字形に気を付ける「意識」なども共に脳内へ記憶されることになり、体を動かすための「運動野」や感覚に関係する「大脳皮質」など、「言語中枢」以外の部分が同時に働くことが、「覚えること・記憶」力の発揮につながるのだそうです。

紙面に書くことには、線を引く、色鉛筆で加除修正するなど、覚えるための工夫を自由に活かせる効果の他、書くことで記憶が次々とつながる想起効果、脳の「海馬」の働きで情報の引き出しや記憶の連鎖が強くなる効果があることも挙がっています。

では、最近の子ども達の学習状況はというのでしょうか。

身近な漢字を例にしましょう。学校の漢字学習は、従来通りの「漢字ドリル」や「漢字ノート」を使用し、実際に書きながら学習しています。一方、みなみタイムや自主学習では、学習端末(タブレット)を使用した漢字テストの答えを画面上に自分の指で書いたり、なぞったりしています。また、タブレットでは「Delete キー」を押すことで、間違った文字もすぐに消え、新たに書き試すことができます。けれども、ボタン一つで書いた字が一瞬で消えてしまうことは、自分の間違いを振り返り、深めることは難しい気がします。また、文章作りはキーボードを押す・打つ作業で入力を行い、その他は、クリックや画面タッチだけで操作が簡単に進みます。

同じ指を使う作業でも、筆記用具で実際に紙に書く手書きと、キーボード入力や画面上の指書きとでは、脳への刺激も働く脳の機能も違ってくるのが分かります。

～子ども達が漢字や英単語など、正確に覚えるために～ 「鉛筆を使って紙やノートに書く・丁寧に正確に書いて練習する」



毎年行われる「学力学習状況調査」や「学力経年調査」の結果から、本校の子ども達には「漢字」の習得に課題が見られます。また、高学年で実施している漢字検定の結果でもその傾向は明らかです。

漢字の習得はまさに「覚える学習」の代表です。前述の実験結果からも、私たちは日常の中で、「鉛筆を使って正確に書いて覚える」「何度も書く」「間違ったら赤で修正して自分の弱点を知る」などの学習方法を継続的に行うことが効果的といえます。

手で書くことは、手を動かす以外に、字を目で見る、声や心で読む、整えて書く、など多様な神経・感覚の働きが必要です。さらに「はらい・はね・とめ」や字形の細かい部分への意識も必要であり、文字への感覚も豊かになるでしょう。その結果、覚える力が最大に発揮され、正確に書き表す力をさらに伸ばすという相乗効果が期待できるのではないかと考えます。

現代の ICT による学習を否定しているのではありません。子ども達一人一人が持っている学習端末（タブレット）は、調べ学習や発表、プレゼンテーション、子ども同士の交流、素早く手軽な復習手段など、優れた機能を持つ学習道具の一つです。

今、大切なことはアナログ的学習法とデジタル的学習法、それぞれの特徴やよさを活かし、一番効果的な方法で学習を進めることです。また、一人一人の特性、学習する時と場に応じて、取組の成果をより高める方法を選択してあげることです。（最終的に学習者本人がその方法を選択できる力を持つに至れば、言うことはありません。）

漢字の学習や基礎的な計算練習など、反復練習が効果をもたらす学習については、自主学習ノート「ちょこ学」や各自のノートを工夫して学習に活かしていただければと思います。ご家庭でも、お子様の学習に寄り添っていただき、ご助言やお声かけをいただけると、お子様の励みになります。周囲の応援の継続が、めあてを明確にもち意欲・やる気を高める気持ちにつながり、さらなる学習効果も期待できます。

学校では教員が、ご家庭では保護者の皆さんが、子ども達に助言や支援を行い大切な基礎学力が定着するようにと考えています。どうか、お子様の学習への寄り添いにご協力をお願いいたします。

（校長 吉村 幸子）

～ごあいさつ～

先日の学習参観には、たくさんの保護者の皆さまにご来校いただきありがとうございました。当日、子ども達は学習を見ていただけることを楽しみに、朝からワクワクしていつもより以上にがんばっていました。



これからの季節、運動会や全校遠足など学校全体の行事はじめ、学年単位でも様々な活動が続きます。高学年では、子ども達自身が力を合わせることで成功につながる修学旅行や自然体験学習などの宿泊行事があります。

全てが子ども達の成長につながる学習活動。一つ一つの取組や行事を丁寧に進め、仲間との活動や交流を通して、心も体も健やかに優しくたくましく成長できるよう支えてまいりたいと思います。



10月1日に担任から一人一人に手渡しをします「通知表」には、4月からこれまでのお子様の成長の記録や学習の成果・課題が記されています。どうか、ご家庭でゆっくりとお話しいただき、お子様のがんばりをほめてあげてください。

また、これからがんばること、つけるべき力についてもお話しいただき、学年に応じた具体的なめあてなどをもてると、お子様の今後の励みになります。



秋は日々深まり紅葉の美しい時期を迎えます。一方、季節の変わり目で、肌寒さが加わり日没も早く、子ども達の健康・安全により気を付けなければならない時でもあります。

保護者・地域の皆様には、子ども達が元気で充実した生活を過ごせますよう、生活管理や見守りを今後ともよろしくお願いいたします。

(校長 吉村 幸子)

